

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

## かがやく宇宙の微塵となりて

会長 平林 久

KUMMA初代会長の的川さんから引き継いだ平林です。どうぞよろしく願います。

的川さんとは、わたしがまだ東京天文台の野辺山宇宙電波観測所に勤務していた1980年代からお近づきになりました。電波天文衛星「はるか」による国際観測プロジェクトのために宇宙科学研究所に移ったあとも、的川さんについて日本各地での「宇宙学校」に参加したり、JAXA時代になって実現した「宇宙教育センター」に関わりました。

的川さんは広い視点で宇宙を愛し、文化を大切と考え、リベラルな言動をされます。私が好きどころです。大事な的川さんの健康が交代の理由です。よってまず、創立者である的川さんの目指した方向、KUMMAの理念をしっかり継ぎたいと思います。

会長になってあらためてKUMMAとはなんだろう、何をすべきなのだろうと考えるようになりました。それはしかるべく実行に移され、会員の皆さんの求める心にならなければならないのか。積極的な想いが満たされるようになってくるだろうか。

現在、目に見えるKUMMAの代表的な活動が「宇宙の学校」です。これは遠藤先生を中心にKUMMAの精神にむけてデザインされ、全国的なひろがりで行われているものです。

5年間の「宇宙の学校」はどのようにして広がってきたか。これら全国をカバーしようとしたら数百倍の活動が必要でしょうが、規模を広げることでもさることながら、さらに魅力的な方向を見出すことが大事でしょう。遠藤先生とこんなことを話しています。昨年末から、宇宙の学校の開催場所に足を運び、現場を観ることを心がけました。



釈迦三尊像のポーズで、向かって左から平林新会長、的川名誉会長、遠藤副会長

岡山、函館、河北（石川）、奥州市3回、網走、奈良、伊豆、塩釜、多良木（熊本）です。各地に積極的な開催者、オーガナイザーがおられることが次第にわかってきました。そして時間がいたけると子供たちと父兄に語りかけるようにしました。

私たちはいい未来を子どもたちに渡さなければなりません。今の社会はなかなかそうはいっていないと感じることがあります。それでも未来のために子どもたちに明るいエールを送らなければなりません。昨年10月に亡くなられた「やなせたかし」さんの優しさとリベラルな態度が好きで、「アンパンマンの歌」から、

時は早く過ぎる 光る星は消える  
だから君は行くんだ微笑んで

という部分をスクリーンに映して子どもたちと眺めたりしました。なんだかわかりませんが、いい文句ではありませんか。

遠藤先生と打合わせで岩手県一関市の「宮沢賢治と石のミュージアム」を訪れた時に、近くに賢治の「農業芸術概論要綱」の一節の石碑があることを知りました。これがとても気に入っています。

まづもろともにかがやく  
宇宙の微塵となりて

無方のそらにちらばらう

KUMMAの心はこんなかなあ  
と考えてもいます。

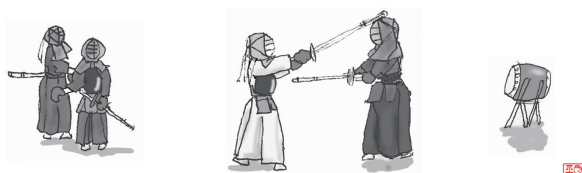
## 引き続き力強い未来へ

名誉会長 的川泰宣

設立から5年。宇宙を軸にしなから子どもと宇宙とつなぐ流れは、私たちの想いをはるかに超えて、力強いひろがりを見せています。「宇宙の学校」の予想以上の展開は、KUMMAの同志たちが描いた構想が、確かに日本中に潜在しているニーズを掘り起こしつつあることの雄弁な証と言えます。

この度私の一身上の都合で会長の任を降ろしていただきましたが、新会長の平林久さんは、私とはまた異なったスタンスで、KUMMAの活動の地平をひろげてくれることは確実です。

これまでのすべてに感謝するとともに、今後のみなさんの変わらぬご協力を、草葉の「こちら側」からお願います。



学びながら伝える

- 子どもたちとつくる未来 -